

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 9 月 24 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (9/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9m ³ /h	32.3	106.5 kPa abs	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.06 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	43.0	7.16 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 1.8 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	42.7	0.23 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 1.8m ³ /h			B系： 0.10 vol%

*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (9/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	26.5
2号機	循環冷却システム	運転中	24.2
3号機	循環冷却システム	停止中	23.6 ²
4号機	循環冷却システム	運転中	32

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

2 停止中のため、至近のデータを記載

・9/24～9/27(予定) 3号機使用済燃料プール代替冷却系について、同系統の瞬時電圧低下対策工事に伴い停止。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	9/24 9:56 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	9/17 10:37 ~ 9/24 10:15 移送実施 9/24 10:22 ~ 移送実施中

7/16 13:00～ 5, 6号機屋外の仮設タンク(9基)には、震災時に5, 6号機各建屋に流入した海水および地下水(メガフォート水)を貯蔵しているが、本仮設タンク水を5, 6号機タービン建屋滞留水と同様に淡水化处理(RO)を行うため、6号機北側にあるFエリアタンクへ移送を開始。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (9/24 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	停止中

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/8/8 12:55～ 6/15 に多核種除去設備A系で発生したバッチ処理タンクからの水漏れについて、現在A系で実施している腐食防止対策をB系でも実施するため、同設備B系を停止。

再発防止対策を実施した上で、C系9月下旬、A系10月中旬、B系11月以降を目処にホット試験を再開予定。

- ・H25/9/23 ~ 多核種除去設備C系のコールド試験を開始。
- ・H25/9/12~9/25(予定) セシウム吸着装置において、処理水タンクの腐食防止のための信頼性向上工事を実施中。

< 5. その他 >

- ・H25/9/21 海側遮水壁工事における資機材搬入のため、シルトフェンスの開閉を実施。1回目(10:40~11:10)、2回目(12:05~12:20)

- ・1号機建屋海側観測井 1T-2 で新たにサンプリングを実施(9/19 採取)。全ベータ:ND。トリチウム:200[Bq/L]

【H4エリアタンクからの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・9/17~18 漏えいの確認されたH4エリア グループNo.5タンクについてタンク底板部および側板1段目を除き解体。9/19~ タンク内部の調査を実施中。
- ・H4エリアタンクIグループNo.5タンク周辺の堰内に設置した観測孔(D-1、D-2)のボーリングコアの線量率分布測定(地表面から1.5mまでを10cm間隔で15分割して測定)を実施。

< D - 1 >

- ・線量率分布測定および線量率分布測定については、バックグラウンド(0.01mSv/h)を超える線量率は確認されなかった。

< D - 2 >

- ・線量率分布測定については、地表面~1.0mの深さでバックグラウンド(0.01mSv/h)を超える線量率を確認。最大値は地表面から20~30cmの深さで、70 μ m線量当量率(線)で1.7mSv/時。
- ・線量率分布測定については、バックグラウンド(0.01mSv/h)を超える線量率は確認されなかった。

<最新のパトロール実績(9/20~23)>

- ・高線量当量率箇所(+線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(堰内溜まり水箇所の漏えいを除く)を確認。

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・観測孔(E-6)について、サンプリングを新たに実施(9/20 採取)。全ベータ:46[Bq/L]、トリチウム:310[Bq/L]
- ・その他については、有意な変動なし。

<排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は9/24 0:00時点で約2,232m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・地下水観測孔 No.2-6 について、新たにサンプリングを実施(9/20 採取)。セシウム 134:ND(検出限界値:0.39[Bq/L])、セシウム 137:ND(検出限界値:0.45[Bq/L])、全ベータ:ND(検出限界値:18[Bq/L])、トリチウム:200[Bq/L]。
- ・その他については、有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- ・H25/7/1~ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/9/20~9/21 地下貯水槽 No.3 漏えい検知孔水(北東側)の全ベータ値で若干の上昇傾向が見られており、この要因としては、地下水の影響による地下貯水槽の浮き上がりを防止するため、現在実施している対策工事の影響によるものと考えている。漏えい検知孔の外側に位置するドレン孔水に有意な変化は見られていないことから、外部への影響はないものと判断している。
- ・H25/9/22~ 地下貯水槽 No.3 漏えい検知孔(南西側)の全ベータ値については、これまで上昇傾向であったが、9月22日より若干低下傾向に転じている。また、地下貯水槽 No.3 ドレン孔(南西側)の全ベータ値については、検出限界値(2.6 $\times 10^{-2}$ Bq/L)を超える値(4.3 $\times 10^{-2}$ Bq/L)が検出されているが、有意な上昇は確認されていない。当該地下貯水槽の浮き上がりを防止するための対策工事が今月末まで継続されることから、当該検知孔の濃度変動は今後も確認されるものと考えている。
- ・H25/9/17~ 地下貯水槽 No.3 の浮き上がり対策として、砕石盛土を実施中。なお、砕石盛土にあわせて、南西側ドレン孔からの地下水の排水を適宜実施。

以上